

整理番号	受付年月日	相談者氏名	相談手段
1-2-1	2015年9月1日	匿名	直接

質問内容

環境省が「CO2 減らせる先進的な製品への認証」作業を始めるというニュースを耳にしました。これについて教えて下さい。

回答

環境省は先導的低炭素技術(以下 L2-Tech^{*1})の普及・拡大を目的として、認証製品等の募集を始めました。これは、「地球一個分」という環境制約の下、大量生産・大量消費型の社会から脱却し、国民一人ひとりが真に豊かな低炭素社会を実現するために、二酸化炭素の排出が極めて少ない大胆な低炭素技術の普及・導入を進める必要があるとの観点から、該当する製品を認証することによって普及・拡大を図ろうとするものです。

注: *1 「L2-Tech」: Leading Low-carbon Technology の略で「先導的低炭素技術」のこと。

L2-Tech 認証制度は、日本法人が製造または販売する製品等のうち、平成 27 年 3 月に公表された「平成 26 年度版 L2-Tech リスト 第 I 表」に示す「L2-Tech の水準」を満たすものについて、審査・認証検討委員会の審査結果に基づき、環境省が認証するもので、9 月初旬を期限として募集されたものです。

上記の表(L2-Tech リスト)では、以下の 6 つの領域について設備や機器の説明、指標の説明、「商用化済、商用化前、開発目標(2030 年)」のそれぞれの段階における L2-Tech 水準(実現されている最高効率の数値)などの情報を網羅的に整理されています。

	大分類	内容
A	産業・業務(業種共通)	空調、熱源 他
B	産業(業種固有の製造設備等)	鉄鋼業、化学工業等
C	運輸	乗用車、船舶、鉄道、航空機等
D	家庭	家電、給湯器、窓ガラス 他
E	エネルギー転換	再生可能エネルギー、火力発電
F	廃棄物処理・リサイクル	一般廃棄物、下水処理 他

幾つか身近な例を示すと「L2-Tech の水準」は、以下の通りです。

- ・自動車(乗用車)
 - －普通自動車 ー燃費 16.0km/ℓ(開発済)
 - －軽自動車 ー燃費 37.00km/ℓ(開発済)
- ・家電(電気冷蔵庫)－35ℓ～400ℓ タイプー年間消費電力量－250kwh/年 (開発済)
 - (液晶テレビ)－40 型ー年間消費電力量－46kwh/年(開発済)

各分野の工業製品から家庭用製品まで、型式や大きさ毎の現在のトップランナー的な数字が示されており、現在の水準や開発目標などが判る興味深い表となっています。こういう制度に導かれて、日本の製品が環境分野において世界のトップランナーとなり、それが日本経済の発展にも寄与するという様な姿が望まれるところです。

参考

- (1) 環境省の先導的低炭素技術募集 HP: <http://www.env.go.jp/press/101351.html>
- (2) 平成 26 年度版 L2-Tech リスト 第 I 表: <http://www.env.go.jp/press/files/jp/27901.pdf>